

## 障がい者スポーツと総合型クラブ

# 一般社団法人 飛驒シューレ

## <岐阜県飛驒市>

地域スポーツクラブへの障がい者スポーツの導入について、2016年のブロック別クラブネットワークアクション(NWA)で情報提供を行っておりますが、参加できなかったクラブも多数いらっしゃるかと思います。

そこで今回は、障がい者スポーツを導入しているクラブの事例紹介をいたします。



※このPDF内の写真は、障がいの有無に関係なくすべての子どもたち・大人の方たちを写しています。

## 1 クラブ概要

### 設立背景と現在までの経緯

4段階を経て、組織を固める。

2005年7月～2007年6月、3カ年計画・飛驒市体力向上健康増進モデル事業「山っこ倶楽部」として発足

- 2007年7月、事業終了とともに「山っこ倶楽部」から「飛驒シューレ」と改名して活動継続
- 2009年1月、一般社団法人格取得
- 翌2010年11月、総合型地域スポーツクラブとして岐阜県体育協会へ届出

## | 設立時のキーパーソン

宮下充正氏 (東京大学名誉教授/現・首都医校校長)

科学的な視点で事業展開するためのプロジェクトチーム チーム長

山田ゆかり

立ち上げ時の事務局担当と現在まで継続運営担当

## | クラブ理念

ライフスキル (生きる力・甲斐性) を身につけること。こどももおとなもひとりひとりが「何ができる?」「どうすればいい?」を考え、相手を思いやりながら自主的・継続的に活動することを目指す。シュレのすべての活動はそのための「ツール」とする。

## | 理念実現に向けた現在の活動状況

- 定期的活動場所を分散させ、メンバーの広域化を図る。

Little Tree Houseを拠点に、キッズクラブ (神岡小、古西小、古川小の学区)、シニア体操クラブ (神岡町)、アクアウォーク (宮川町)、HYSクラブ (飛騨吉城特支) などで分散して活動。

- 飛騨地区や他のスポーツ団体との連携 (協働) を推進。

メンバー以外の人々 (こどもたち) と共に運営、参加できる事業を季節ごとに定着させ、かつ継続的に展開。

(例) 4月バスケットボールクリニック、6月ウォーキング、7月キッズスイミング、8月宇津木妙子杯6時間ソフトボールゲーム、絵本ワーク、10月スポーツフェスティバル協力、11月テーピングワークショップ、KOD! (多種目スポーツ体験会)、12月グッドコーチングワークショップ、2月雪遊び、3月Allカップ+キッズテニスなど。

- 特別支援学校の協力を得てオルタナティブな活動を推進と同時に、高等部生徒、OB・OGをキッズクラブのリーダーとして育成・登用。

## 2 導入の経緯・種目等

私たちは「障がい者スポーツ」ではなく、「障がいをもったこどもたちとの協働活動」という考え方であることが大前提です。オルタナティブな活動の推進を心がけています。それが、障がいをもつこどもたちが、スポーツと触れあうための第一歩だと思っています。

※ オルタナティブ…既存のものに取ってかわる新しいもの

## | 経緯

2014年春、総合型地域スポーツクラブのひとつの役割である障がいを持つ人々へのスポーツ普及を目的とする「事業申請案内」が岐阜県障がい者スポーツ協会からきた

- 申請し、認可された
- 事業内容を特別支援学校のこどもたちを対象にした
- 告知や声掛けで、特別支援学校PTAのご協力を得た
- ことあるごとにチラシを作成し、市内の特別学級にも配布
- 参加希望者の見学
- 2015年度Ⅱ期目を受託
- 事業受託の可否に関わらず、定期的な活動にしたい旨を参加者に提案
- 同意を得て、シュレ活動の一環とする (HYSクラブという呼び名をつける)

## 対象種目

対象種目をキッズテニスとスナッグゴルフ※にしている。動くボールと止まるボールの両方をプレーできる種目を揃えることで、子どもたちの特性をより活かすことが目的。定期的な活動はそれぞれ行い、イベントはキッズクラブのこどもたちと一緒に活動するため、障がいの有無に関わらず、シューレのメンバーは同じ種目を行う。

※年齢や体格差・技術差の区別なく、屋内でも安全に楽しめるゴルフ。

## 活動場所

なかなか踏み出せないこどもたちの気持ちを考え、日頃親しんでいる特別支援学校の体育館を会場にしたことが、安心安全という点で奏功している。

## テニス

テニスに関しては、年2回、日本テニス協会から専門コーチが来てくださっているが、日頃の活動での指導者には保護者たちが携わっており、ともに活動をつくりあげている。



## 3 導入による効果・影響

定期的な活動はそれぞれの地域別になりますが、シューレの全体イベントはすべてのこどもたちがいっしょに活動するので、障がいがあるかないかはこどもたちにとって関係ありません。無意識のうちにいっしょに活動できることが大切です。

特に、特別支援学校高等部生徒やOB・OGメンバーは、キッズクラブのこどもたちの面倒をよく見てくれるので、イベントによってはリーダーやサポーター的な役割を担ってもらうことがあります。それは彼らにとっても重要な活躍の場であり、やりがい、生きがいを感じる場となっています。

## 4 今後の課題・展望

特別支援学校の生徒やOB・OGメンバーが、イベント時のリーダーやサポーターを担えるようなエデュケーションの場を作りたいです。

## 5 その他

障がいがある・ないで区別することが、当事者には差別と感ずることがあります。私たちは、障がいの有無、民族、宗教などにかかわらず、すべてのこども（人々）はイコールという考え方、生き方を、シューレメンバーひとりひとりに意識してもらえるような、活動方針を持っています。もちろん、日頃のこどもたちへの声掛けも同様です。思いやりの心を育てるには不可欠の考え方だと思います。また、スポーツの本質にも通ずると思います。

「障がいがあるこどもはスポーツ少年団に入りにくいという思いがありました。シューレの活動は、まさに望んでいた『こどものための定期的なスポーツ活動』なので、すごくうれしいです」という声を、特別支援学校に通っているこどもたちの保護者からいただいています。

「障がい者へのスポーツ普及」「障がい者スポーツ」と特別視せず、いつものように、いつもの人々とっしょに、楽しくスポーツをする、というスタンスが「うまくいくコツ」ではないでしょうか。



(一社) 飛騨シューレ  
代表理事 山田 ゆかり

## クラブプロフィール

設立年月日：平成17年7月1日(平成21年1月法人登記)

所在地：岐阜県飛騨市

運営：会員数：85名(平成28年10月現在)  
予算規模：140万円(平成27年度決算)

有給職員：0名

クラブ内資格保有者数：日本体育協会公認アシスタントマネジャー 1名

特徴：オルタナティブなクラブをめざしています。メンバー以外も参加できる広域的な事業や連携(協働)事業を積極的に推進しています。

### ■ 連絡先

郵便番号	506-1121
住所	岐阜県飛騨市神岡町殿1208-9 Little Tree House
TEL	090-2529-7062
ホームページ	<a href="http://hida-schule.info/">http://hida-schule.info/</a>